

きほく川柳会

世話好きがふたつ返事で引き受ける

栗木 一郎

我がキッチン徐々に夫が攻めてくる

宮岡 沙代

汗した分稼いでくれる道の駅

武田 浅美

夏草と勝負が尽きぬ鎌を研ぐ

渡辺 光男

草茂る故郷私の戻る場所

森本 幸美

雑草にもなれずモヤシのまま終わる

財前 溪子

詫びることいっぱい墓の草むしる

金子すすむ

レジの前で小銭引き出すもどかしさ

吉井 興一

すねくれてレジいら立たすバーコード

宇都宮 孝

ピヤガーデン女も負けぬ大ジョッキ

都 瞳

ウーロン茶飲んで酔う真似むつかしい

宇都宮 忍

コーヒーを飲んだくらいで噂され

加藤 桂子

病み上がり嬉しさほどは飲めず酔い

合田 悦子

世渡りの旨さ清濁併せ飲む

宮川 柳酔

ふじさんはすぐ高いよびっくりだ

小二 山田 清也

馬にのる足がふるえてこわかった

小三 梶野 海斗

たかい木にせみがいっぱいいない

小三 石崎 海士

川の水きれいな場所に魚くる

小四 淵本 ななみ

川の水とてもつめたい気持ちいい

小六 清原 瑠依

夕日出てかへの親子が川渡る

小六 菅本 聖羅

子はみんな高いランクの夢をもつ

中三 榎 美咲

空高くカラフル花火打ち上がる

中三 宮川 直輝

高山の川のめぐみでお茶一杯

高一 山口はると

高台で見たこの景色忘れない

高一 榎 美琴

働いて得たお金こそ高い価値

高二 山口 悠李

電車乗る席をゆずるよ若い人

高二 清原 賢斗

川遊び命を守り楽しもう

高三 梶田 拓也

川がにの親子歯みがき泡ぶくと

高三 清原 彩香

竹の子川柳会

Andrew's Story [No.9] 「KARAOKE」

最近、私はカラオケに行くことが多くなりました。そこで、今回は日本とアメリカのカラオケの違いについてお話します。

日本では、「カラオケボックス」というカラオケ専用のお店がありますね。これは、日本では多くの人がカラオケに行くからこそ、出来たものなのだと思います。

アメリカにはカラオケ専用のお店はあまりありません。ほとんどの場合、それぞれの家庭でカラオケの機械を買って、家でパーティをするときこれを使います。この機械では専用のCDを買うか、普通に販売されているCDから歌手の歌声を削除

したものを使ってカラオケを歌います。ところが、実際はこの機械はあまり人気がありません。

しかし、アメリカには日本にはない人気のカラオケがあります。それは「カラオケバンド」と呼ばれるものです。

「カラオケバンド」とは、たくさんの曲を演奏できるバンド（ロック系など）が、お客さんからリクエストを受け、そのリクエスト曲を演奏してくれます。そして、その曲の演奏に合わせて、リクエストを出した人が歌うというものです。

これが結構楽しくて、盛り上がるんですよ。



鬼北町外国語指導助手
通称：アンディ
アメリカ合衆国アリゾナ州出身
※毎週水曜日、英会話教室を開講しています。